

小川町総合福祉センター集約再整備基本構想・基本計画(案)に係る  
パブリックコメント  
(結果)

令和8年3月 小川町

## 1. 概要

(1)実施期間 令和8年1月13日(火)～令和8年2月12日(木)

(2)意見提出者数 25人

(3)意見数 25件

## 2. 小川町総合福祉センター集約再整備基本構想・基本計画(案)についてのご意見等と町の考え方

小川町総合福祉センター集約再整備基本構想・基本計画(案)について、パブリックコメントを実施したところ、沢山の貴重なご意見、ご要望をいただきました。これらのご意見等とご意見等に対する町の考え方は2ページ以降をご覧ください。

なお、総合福祉センター集約再整備基本構想・基本計画は、パトリアおがわへ町の他の公共施設を複合・集約化することで、厳しい町の財政状況でも町民福祉に必要不可欠な公共施設の維持とパトリアおがわの高度利用を図り、持続可能な公共サービスを実現するため、集約再整備の基本的な考えや施設の改修内容等を示すものです。

本計画は小川町公共施設等総合管理計画及び小川町公共施設個別施設計画を上位計画としています。また、公共施設の集約は、小川町都市計画マスタープランや小川町立地適正化計画などの、本町のまちづくりの方向性を示す計画、その他福祉関連の計画や地域防災計画等をその他関連計画として、集約再整備の方向性や改修内容を踏まえて、検討するものです。

そのため、個別具体的な内容については、今後の設計や運営における参考とさせていただきますので、ご了承ください。

No.	ご意見等（概要）	町の考え方
1	道の駅おがわまちを中心とした総合福祉の場として、芸術文化センター的なスペースを構築すべきである。特定の作家や画家に焦点を当てたフリースペースを設け、商業スペースと地域文化に特化した公共スペースが一体となることで、スポーツも含めた福祉サポートが可能になる。「スポーツと芸術が町を変える」という視点で整備を進めることを提案する。	ご意見ありがとうございます。本計画は、パトリアおがわを「福祉」「活動」「文化」の3つの機能を持つ交流や生きがいの場として整備する方針を示しています。館内の共有部については、幅広い属性が集まり交流が生まれやすいスペースを計画する方向性としています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
2	約18年間月1度の高齢者の集まりと、5年間月2回の卓球活動を続けてきた。高齢者の健康維持のためふれあいプラザおがわは必要不可欠である。東小川から離れた場所に施設ができて、高齢者はどのような手段で利用すればよいのか。利用目的や利用料金を十分に考慮し、ふれあいプラザおがわの存続を切に願う。	長年のご利用ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
3	集約整備を行わない場合と行う場合のイニシャルコストの比較方法が不適切である。今回の大規模改修の借金を返済するのは将来の子ども達であり、若い世代への過大なコスト負担とならないよう、長期収支シミュレーションを公開すべきである。車を持たない高齢者や学生へのアクセス手段の確保なき改修は公共施設の公平性を欠く。ふれあいプラザおがわの今後の計画についても町民に明示すべきであ	ご意見ありがとうございます。本計画は基本構想・基本計画の段階であり、集約再整備の基本的な考え方や方針を示すものです。工事費の詳細は今後の基本設計・実施設計の段階で算出します。維持管理コスト削減については、今後の管理運営方法の検討を進めていく中で参考とさせていただきます。ふれあいプラザおがわの土地建物については、地域の方々の意見を伺いながら検討を進めてまいります。交通手段については、今後の課

	<p>る。また、スマートロック等の IT 化によるコスト削減や、テナント貸し出しによる収益化も積極的に検討すべきである。</p>	<p>題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
4	<p>町の財政事情、少子高齢化を考えると残念ながら今回の集約再整備計画はやむを得ない。平成 14 年のオープン以来、週 3~4 日ふれあいプラザおがわを利用してきた者として淋しく思う。パトリアへのトレーニング施設は、町民の健康増進のため必ずお願いしたい。なお、ふれあいプラザおがわの使用料が安すぎる。建物は解体せずコミュニティセンター等町民のために残すことを願う。</p>	<p>計画へのご理解をいただき感謝申し上げます。本計画では、健康増進・フレイル予防機能として、運動ができる平場のスペースやトレーニングルームをパトリアおがわ内に新たに導入する方針を示しています。ふれあいプラザおがわの土地建物については、地域の方々の意見を伺いながら検討を進めてまいります。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
5	<p>ふれあいプラザおがわを利用している。利用者の意見を集約する場を設けてほしい。移転することのみでなく様々な可能性を考え、町民ファーストで考えるべきである。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本パブリックコメントは、基本構想・基本計画(案)の段階で広く町民の皆様のご意見を伺い、町的意思決定を行うものです。いただいたご意見は今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
6	<p>小川町はスポーツ振興を掲げながら、町民体育館も町民プールもない。小規模なスポーツ設備を有した施設を町の数カ所に設置すべきである。パトリアに集約して事足りたとは言えない。高齢者が増え車移動もままならない中、遠地に運動をしに行く交通手段もない。身近な場所に運動施設が必要である。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。集約再整備により更新に係るコストや維持管理費の縮減を図る方針です。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

7	<p>計画案の記述に疑問がある。パトリアおがわへの公共交通によるアクセスが悪く、車を持たない利用者の移動手段が課題である。大河公民館やふれあいプラザおがわは現在も多くの利用者があり、利用状況を十分に踏まえた上で改修内容を検討すべきである。パトリアおがわの存続ありきで作成されている。この段階でのパブリックコメントに意味があるのか。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本パブリックコメントは、基本構想・基本計画(案)の段階で広く町民の皆様のご意見を伺い、町的意思決定を行うものです。本計画は、既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへ機能が類似する他の公共施設を複合・集約化することで、持続可能な公共サービスを実現する方向性を示すものです。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
8	<p>三施設統合については一定の評価をする。しかし「自分でつくる みんなで支える 健康づくり」という理念から、フレイル予防の運動施設は身近にあれば取り組む人が増える。「ふれあいプラザおがわ」は残すべきである。西と東に運動施設があることが町民の健康寿命延伸につながる。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
9	<p>トレーニングルームは駅前エリアにあるべきである。全ての居住者がバスで駅方面に通うことができる。点在していると通いづらく、自転車でも坂があり雨天時はほぼ不可能である。トレーニングは健康維持と疾病予防で重要な役割があり、図書館などと共に徒歩圏内に設置すべきである。統廃合がやむを得ないなら、全ての住民がアクセスしやすい中心エリアに集約すべきである。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。集約再整備後の施設は小川町駅周辺の中心拠点への配置が望ましいものの、本計画では、既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへ集約再整備を行う方針としています。機能が類似する他の公共施設を複合・集約化することで、持続可能な公共サービスを実現する方針を示すものです。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>

10	ふれあいプラザおがわ等の機能をパトリアおがわに全面移管された場合、東小川住民で運転免許返納した高齢者や免許を持たない学生は2系統のバスを乗り継ぐことになり、乗り継ぎ時間や交通費が大幅に増える。利便性が大きく損なわれる。巡回バスの充実や移管機能の見直しを検討願う。	ご意見ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。集約再整備後の施設は、既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
11	町民のためのフレイル予防施設であるふれあいプラザおがわがパトリアに集約されることを利用者対象の説明会を開催して説明すべきである。現在のふれあいプラザおがわは団地内にあるからこそ高齢者にとって利便性がある。パトリアに移転した場合、現在のような稼働率は望めず、フレイル予防率も減少する。企業に建物の維持・管理等を依頼する方法も検討すべきである。更なる町の発展にもなり、宣伝にもなると思う。	ご意見ありがとうございます。本パブリックコメントは、基本構想・基本計画(案)の段階で広く町民の皆様のご意見を伺い、町的意思決定を行うものです。既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。運営・管理方法を検討し、営業時間の延長など利便性の向上を目指す方針です。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
12	将来人口の見通しから公共施設の集約化は必要であると思う。残念ではあるが、集約再整備案に賛成する。少子高齢化、人口減対策を今まで以上に進めてほしい。	計画へのご理解をいただき感謝申し上げます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。少子高齢化、人口減対策については、町全体の施策として引き続き取り組んでまいります。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。

13	<p>広報で集約対象施設を明記すべきである。ホームページを閲覧できない人や移動手段がない人にとって、施設に行って長文の冊子を読了することは困難であり、住民が情報を得てからパブリックコメントの締め切りまでの時間が短すぎる。ふれあいプラザおがわの閉鎖は、東小川住民の大切な活動・交流の場を失うことになり、現在取り組み中のコミュニティ活性化を阻害する。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本パブリックコメントは、基本構想・基本計画(案)の段階で広く町民の皆様のご意見を伺い、町的意思決定を行うものです。パブリックコメントは小川町パブリックコメント実施要綱に基づき31日間実施しました。ふれあいプラザおがわの土地建物については、地域の方々の意見を伺いながら検討を進めてまいります。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
14	<p>パトリアおがわを中心とした公共施設の集約整備については賛成する。しかし大河公民館は腰一地区の高齢者の健康づくりや住民活動の拠点である。解体されれば行き場を失う。令和8年度に廃校予定の大河小学校の一部を利用してほしい。地域を支えてきた高齢者にも楽しみを与えてほしい。</p>	<p>計画へのご理解をいただき感謝申し上げます。本計画は、集約再整備後のパトリアおがわを、大河地区の地域住民をはじめ、広く多様な世代の町民が様々な活動に活用できる施設として改修を行う方針を示しています。大河公民館及び大河小学校の土地建物については、地域の方々の意見を伺いながら検討を進めてまいります。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
15	<p>東小川は駅なし、スーパーなし、銀行なし、学校なし、バスも減少で陸の孤島になりつつある。パトリアは小川町のはずれにあり、利用するのも不便である。公共施設は町の中心にあるべきである。健康で生きていくことを望んで「ふれあいプラザおがわ」に通う一人として、トレーニング機器があり、歩いて行けるこの施設は必要不可欠である。閉館にならないようお願いする。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。小川町駅周辺を中心拠点への配置が望ましいものの、既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の</p>

		参考とさせていただきます。
16	パトリアの再整備に反対する。この設備は売却を提案する。活用中止のほうが再整備して維持するよりも削減の費用効果大きい。再整備に必要な費用負担が大きすぎ、再整備後も人口減少を考慮すると維持管理費の負担が大きすぎる。ふれあいプラザおがわはそれほど老朽化していない。パトリアの児童館等は他施設へ分散移転すべきである。町が保有する場合は経済効果を生む活用を考えるべきである。	ご意見ありがとうございます。本計画は、既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへ機能が類似する他の公共施設を複合・集約化することで、持続可能な公共サービスを実現する方向性を示すものです。集約再整備により更新に係るコストや維持管理費の縮減を図る方針としています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
17	パトリアへの「ふれあいプラザおがわ」の統合に反対する。現状の施設利用率が高い施設をパトリアに移動すると、施設移動した場合の利用率低下が懸念される。ふれあいプラザおがわは平成14年設立で法定減価償却上の老朽施設と分類しているが、建物の老朽化が進行して直ぐに利用が危険な状態まで至っていない。空調機器は昨年度増設している。現利用者にアンケート等の意見集約並びに運営業者の意見聴取を願う。	ご意見ありがとうございます。本計画は、集約再整備後のパトリアおがわを広く多様な世代の町民が様々な活動に活用できる施設として整備し、運営・管理方法の検討によって、営業時間の延長など利便性の向上を目指す方針です。ふれあいプラザおがわの土地建物については、地域の方々の意見を伺いながら検討を進めてまいります。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。
18	東小川在住者でふれあいプラザおがわに徒歩にて健康維持の一環として、長年利用者として重宝していたが突如として閉鎖とのことでガッカリしている。東小川に唯一の運動施設なので今後も高齢化が進む状況だが存続願いたい。	長年のご利用ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。健康増進・フレ

		<p>イル予防機能として、運動ができる平場のスペースやトレーニングルームをパトリアおがわ内に新たに導入する方針を示しています。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
19	<p>小川町行政の姿勢・考え方について疑問がある。計画をまとめる前に関係する住民への事前説明会を設けるべきである。財政が厳しいという切迫感が全く感じられない。足が悪く車の運転もできない住民にとって移動手段がなければ、どれだけ立派な施設ができて利用できない。また、福祉 NPO や民間会社へスペースを貸し出すなど、利益を生む手段を積極的に検討すべきである。パブリックコメントを求めるならば、計画案と共に各議員のコメントを一緒に添付すべきである。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本パブリックコメントは、基本構想・基本計画(案)の段階で広く町民の皆様のご意見を伺い、町的意思決定を行うものです。本計画は、既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへ機能が類似する他の公共施設を複合・集約化することで、持続可能な公共サービスを実現する方向性を示すものです。集約再整備により更新に係るコストや維持管理費の縮減を図る方針としています。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
20	<p>財政負担の観点からの再配置は理解できるが、「ふれあいプラザおがわ」のパトリアへの統合選定について「自家用車によるアクセスの利便性が高まる」とあることが理解できない。高齢化による運転ができない住民が増える傾向にあり、東小川住民にとっての利便性は高まらない。会議室の稼働率が高いことから住民にとって必要な施設である。収益を向上させる利用方法等を考えることは不可能か。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画では、既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。ふれあいプラザおがわの土地建物については、地域の方々の意見を伺いながら検討を進めてまいります。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
21	<p>東小川住人からするとトレーニング設備のパトリア集約は</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総</p>

	<p>反対である。東小川通過の路線バス廃止とか設備集約とか悪い話ばかり最近耳にする。生活基盤が維持されない。人口減少・少子高齢化など何十年も前からわかっている事である。このまま統廃合・集約方向では「この町に住み続けたい」「魅力的な町」になるはずがない。観光活性化、人口増加、移住定住の促進、明るい未来ある小川町へ期待できる施策を提示してほしい。</p>	<p>合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針とし、更新に係るコストや維持管理費の縮減を図る方針としています。少子高齢化、人口減対策については、町全体の施策として引き続き取り組んでまいります。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
2 2	<p>週3回ふれあいプラザおがわに通い楽しく運動を続けている。5年、10年後の自分を想像しながら運動を続けている。場所が近いことも継続するきっかけになっている。私達から運動をする機会を奪わないでほしい。将来の医療費の削減にも影響する。ふれあいプラザおがわの現状維持を希望する。</p>	<p>長年のご利用ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。健康増進・フレイル予防機能として、運動ができる平場のスペースやトレーニングルームをパトリアおがわ内に新たに導入し、運営・管理方法の検討により、営業時間の延長など利便性の向上を目指す方針を示しています。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
2 3	<p>町としての施設の老朽化、コスト削減など様々な考えで総合福祉センターへの集約を計画しているが、利用者が集約されたのちにも同じように利用できる手段を考えての計画をお願いしたい。集約されたあとの施設を利用するにあたり、建物や中の設備についても、メンテナンスをしっかり</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。集約再整備により更新に係るコストや維持管理費の縮減を図る方針です。ふれあいプラザおがわの土地建物については、地域の</p>

	<p>した形で、東小川住民が利用できるようにしてほしい。利用については住民の状況等を考慮し、貸与していただきたい。町、住民双方が納得できるよう進めてほしい。</p>	<p>方々の意見を伺いながら検討を進めてまいります。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
24	<p>パトリアおがわに総合施設を統合することを望む。今後、高齢者が増加する。健康増進センターとして運動器具の導入（ふれあいプラザおがわの器具を使用）、以前からあるプールを活用（リハビリ等に）。財源は利用者から徴収する。貸館機能をサークル活動している方に利用してもらい、利用費発生で財源を増す。充実した施設、小川町民が利用したくなる施設を希望する。パトリアおがわからの巡回バスを検討してほしい。</p>	<p>計画へのご理解をいただき感謝申し上げます。本計画では、健康増進・フレイル予防機能として、プール等の場所を活用し運動ができる平場のスペースやトレーニングルームをパトリアおがわ内に新たに導入する方針を示しています。運営・管理方法を検討し、営業時間の延長など利便性の向上を目指す方針です。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>
25	<p>本計画によるふれあいプラザおがわの統合には反対である。現施設は日常的に多くの町民が利用しており、特に高齢者の健康維持に重要な役割を果たしている。パトリアおがわへの移動は自家用車を持たない高齢者や学生にとって現実的ではなく、利用継続が困難になる。近隣で運動できる環境が失われると、運動習慣の低下による健康悪化や医療費増加が懸念される。統合以外のコスト削減策を十分に検討すべきである。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。本計画は、小川町公共施設等総合管理計画に基づき、人口規模を踏まえた持続的な行財政運営のための施設総量の適正化を推進する方針を示すものです。既存施設の有効活用やホール存続の観点から、パトリアおがわへの集約再整備を行う方針としています。交通手段については、今後の課題として認識しています。いただいたご意見は、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>